

結の心を大切に、誰もがきらきらと輝き共に助け合い、支えあう福祉のまちづくりを目指して



No. 37
2021年(令和3年8月)

たけとみちょう 社協だより

編集・発行 / 社会福祉法人 竹富町社会福祉協議会 / 事務局 〒907-0012 石垣市美崎町16番地6
TAKETOMI TOWN SOCIAL WELFARE CONFERENCE 離島等相当通所介護事業所 訪問介護ステーション **さみん**
Phone (0980)84-3302(直)・(0980)82-3002(Fax兼用)
E-mail:takeshakyou@blue.ocn.ne.jp



～通所の様子～



～訪問スタッフ～

もくじ

- 報告▶▶ 令和2年度事業報告 2
- 報告▶▶ 令和2年度会計報告 3
- 紹介▶▶ 共同募金の仕組みpart2 4
- 報告▶▶ 令和2年度赤い羽根共同募金活動報告 5～7
- 募集▶▶ 助成団体募集のお知らせ
- 紹介▶▶ 社協からのお知らせ 8

今年も新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、沖縄県、特に石垣市で非常事態宣言が発令された5月下旬から、船便の減少、離島間の移動が自粛となりました。その中で、社協事務局ではコ

町社会福祉協議会
会長 大城正明



ロナにより生活が苦しくなった方のための貸付業務、訪問・通所の各「さみん」では、現地スタッフの協力のもと介護を必要とする方のため介護サービスを社協一丸となり継続しております。現在も県の緊急事態宣言下にあります。皆様のご理解ご協力の下、事業を継続できること、感謝申し上げます。

令和2年度 事業報告

1. 老人福祉事業

●記念品交付【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

各地区で開催される敬老会において記念品を配付し、地域住民と共に長寿をお祝いしながら地域ふれあい交流の推進を図った。

対象者：80歳・85歳・90歳・95歳・100歳以上

令和2年度実績：83名

●絵本を通して豊かな未来を【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

絵本を通して利用者との関係性が深まり、普段の生活により居心地がある居場所づくりとなるようお年寄りとちょっと素敵な時間を過ごせるヒントや笑顔が見られることを目的とした絵本の読み聞かせを学んだ。

実施日：令和2年11月6日(金)～8日(日)

実施場所：竹富町立竹富保育所、中野わいわいホール、
離島振興総合センターホール、波照間複合型福祉施設

対象者：保護者18名、保育園士・幼稚園教諭10名、
地域ボランティア7名、民生委員4名、その他2名、
竹富町社会福祉協議会5名

参加者：46名(3日間累計)

2. 児童福祉事業

●新入学児童用品交付【財源：赤い羽根共同募金・寄付金・会費等】

竹富町の次世代を担う子ども達の健やかな成長を地域で支え、児童福祉の向上を図りながら新入生のお祝いをした。

実施場所：竹富町立小中学校

実施日：令和2年4月

対象者：竹富町内各小中学校の新入児童生徒 103名

●児童福祉週間行事地域ふれあい交流イベント【財源：赤い羽根共同募金】

児童福祉週間行事の一環として、保育所・地域住民等と協働してふれあい交流イベントを開催した。

実施場所：波照間保育所・幼稚園、大原中学校、西表島東部デイ、竹富小中学校
実施日：令和2年9月16日(水) 10:45～12:00

対象者：142名(4日間累計)

●ボランティア推進指定校【財源：赤い羽根共同募金配分金】

ボランティア活動や福祉教室等を通して、「住んでいる地域で自分ができること」へ「気づき」を促し、安心して豊かに暮らせる地域づくり推進に児童生徒が積極的に携わっていただけるよう支援した。

ボランティア推進指定校

活動助成金を交付し、学校単位で様々なボランティア活動を計画し、実践した。

3. 視覚障がい者福祉事業【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

障がいの有無に関わらず地域住民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことができるようにする。体験をとおして楽しく学び、視覚障がいへの理解へつなげた。

実施場所：石垣市離島ターミナル 会議室1・2

実施日：令和2年10月23日

参加者：13名

4. 結のまちづくり活動助成事業【財源：赤い羽根共同募金】

共同募金の一部を財源として「住み慣れた島で安心して暮らせるまちづくり」の推進に取り組む団体・グループ等に対し公募によって申請を受け、助成した。

実施団体：8団体

事業総額：381,000円

5. 福祉育成援助活動事業

●ボランティア育成推進【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄付・会費等】

町内ボランティアの人材育成、資質向上を行い、地域ネットワークの推進、地域福祉力の向上を図った。

内容：●ボランティア登録推進

●ボランティア保険受付

●地域リーダー、ボランティアの育成

●県社協、石垣市で開催される研修会等への派遣

①ボランティア登録推進 10団体 55名

②福祉教室の開催

独居世帯や気になる家庭等を対象に子ども達が登下校中にためらうことなく積極的な「声かけ」が出来ることを目標に、その第一歩となるようフィールドワークを行った。

実施場所：西表東部地区(大原小学校)5回目

大原小学校4年生教室・離島振興総合センター大ホール

実施日時：令和3年2月15日 10:30～12:00

参加人数：16名、地域協力者20名

③ボランティア講演(動画配信)

コロナ禍でも様々な工夫を凝らしながら実践している学校での福祉教育や地域活動の報告を通して、今後の地域活動につなげていくことを目的に開催した。

日時：令和3年2月3日(水)

参加者：竹社協2名(各小中学校へは情報提供)

④ボランティア情報交換会

地域リーダーやボランティアの資質向上を行い、地域ネットワークの推進、地域福祉力の向上を図ることを目的に開催した。

日時：令和3年2月24日(水)

実施場所：石垣市立図書館 視聴覚室

参加者：竹富町ボランティア17名、与那国社協1名、竹社協4名

●結のまちづくり推進【財源：赤い羽根共同募金配分金・寄附金・会費等】

地域内で発生している福祉課題を地域住民全体の問題としてとらえ、住民全体の問題としてとらえ、住民相互の助け合い・ふれあい活動を基本に解決できるような、地域支え合い体制の基盤づくりを推進した。

実施場所：竹富島・小浜島・黒島・西表島 結のまちづくり助成金
交付地区 他

実施日：令和2年4月～令和3年3月

事業実績：コロナ禍での交付式・事業説明会・座談会が中止。

実施団体及び、次年度申請団体へは電話、窓口相談等での予約受付対応。

実施団体：16団体

6. 共同募金運動の推進【財源：県協募事務費(共募会計)・歳末助け合い募金】

竹富町共同募金運営委員会で決まった事業計画に沿って、住民参加のもと募金運動に取り組んだ。

実施場所：竹富町全域・石垣市

実施日時：令和2年10月1日～12月31日

●沖縄県共同募金委員会受賞報告及び、伝達式

●共同募金出発式及びボランティア推進校交付式

●募金箱設置[令和2年度60ヶ所設置]

●街頭募金活動

[黒島小中学校・大原中学校・大原小学校・船浮小学校・白浜小学校]

●共同募金運営委員会の開催(年3回)

●共同募金審査委員会の開催(年2回)

●啓発活動[事業実施等に合わせて、事業についての周知活動]

●募金贈呈式の開催(全8回)

●たけとみちよう社協だよりの発行(年3回)

●歳末たすけあい便りの発行(年1回)

●募金額(赤い羽根共同募金:2,875,368円、歳末助け合い運動1,606,115円)

7. 歳末たすけあい配分事業

●義援金配分【財源：歳末助け合い運動募金】

新年を迎える時期に、生活困窮世帯(非課税世帯)で支援を必要とする人たちが地域で安心して正月を迎えられるように、歳末助け合い募金の一部を配分した。

実施場所：竹富町全地区

実施日時：令和2年12月下旬

歳末義援金一人当たり 10,000円 計71名

●ふれあいイベント助成【財源：歳末助け合い運動募金】

竹富町の高齢者、障がい者、子どもなど、誰もが地域社会の一員として安心して新年を迎えることができるよう、住民の主体的な参加により地域で実施される福祉活動を支援・推進することを目的とした。

実施団体：27団体

助成総額：698,307円

8. 生活困窮者等への支援【財源：会費、寄付金、歳末たすけあい】

①法外保護事業 ②フードバンクの設置

生活保護法、その他社会福祉関係法による適用の対象とならない一般生活困窮者に対し、予算の範囲内で食品等の支給措置を講じ、緊急かつ一時的に支援を行った。

事業実績：令和2年度 0件

9. 生活福祉資金貸付事業【財源：県社協受託金】

町内低所得者の自立更生を図った。

実施場所：竹富町全域

実施日時：令和2年4月～令和3年3月

対象者：生活福祉資金長期滞納者、町内生活困窮者 他

事業実績：○一般貸付

償還指導5名(延べ6件)、

貸付相談5名(延べ12件)

○特例貸付 ※令和3月5日付

緊急小口資金(特例貸付) 72件 14,250,000円

総合支援資金(特例貸付) 51件 25,050,000円

総合支援資金延長(特例貸付) 28件 13,350,000円

10. 戸別総合相談事業【財源：会費、寄付金、町補助金】

制度の狭間にある方の日常生活におけるさまざまな心配ごとや、困りごとの相談に応じ、助言や諸制度の紹介、又関係機関等へつなぐ調整を行い、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

実施場所：竹富町全域

実施日時：令和2年4月～令和3年3月

訪問相談(延べ3件)、電話相談(延べ7件)、来所相談(延べ1件)

11. 日常生活自立支援事業の推進【財源：県社協受託金・寄附金・会費等】

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が地域において安心して自立した生活が送れるように、本人との「契約」に基づき支援した。

実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

相談件数：19回

関係機関連絡会議・研修会等への参加 14回(竹富町・石垣市)

12. 生活支援体制整備事業の推進【財源：竹富町受託事業】

高齢者をはじめとした住民が地域社会に関わることで住民同士のつながりが深まり(社会参加)、それが心や身体健康維持(介護予防)、そして支え合い(生活支援)につながっていくことを推進する。高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「地域づくり」を目指した。

実施期間：令和2年7月1日～令和3年3月31日

13. 社協会員募集推進【財源：寄付金・会費等】

町内地域福祉の積極的な推進における財源確保のため、社協の活動と趣旨を住民に啓発し、会員募集推進を図った。

実施場所：竹富町全域

実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日(強化月間 4月～7月)

14. ふれあいサロン事業【財源：竹富町受託事業】

住み慣れた地域で、いつまでもいきいきと住み続けられること。地域でたのしみ生かす、社会参加を促し「引きこもり・閉じこもり」等、孤立しがちな人たちが気軽に集まれるサロン活動を支援し、楽しく明るい地域づくりに寄与することを目的とした。

実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

支援サロン：10団体

延べ実施回数：90回
延べ実施人数：669回

15. 車椅子貸出事業【財源：寄贈・赤い羽根共同募金】

一時的に車椅子を必要とする人に対し、車椅子を貸出することにより日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資した。

事業実績：竹富町社会福祉協議会事務所内車椅子使用車数 13名

車椅子保有台数：16台（竹富町社協事務局、各離島ターミナル、出張所他）

16. 関係機関への参加協力等

ゲートボール大会や研修会の際に職員派遣要請があった場合、参加協力し、イベント運営を支援した。

イベント回数：1回（延べ3名参加）

実施場所：竹富町内

17. その他

・竹富町民生委員児童委員協議会への協力（会計補助・事務補助）

・八重山地区民生委員児童委員協議会（会計）

18. 離島等相当通所介護事業・予防介護事業（さみん）

【財源：介護保険・町補助金・利用料】

要介護・要支援者にある利用者に対し、その利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話をを行い、通いの場を提供し、利用者の自宅における自立力の維持、向上へ繋げ、併せてご家族の身体的、精神的負担の軽減を図った。

事業内容・営業時間：10:00～16:00

竹富島（月・火・水・金）、

黒島（月・水・金）、

西表東部（火・木）

利用人数内訳：竹富島12名、黒島4名、西表東部12名

19. 訪問介護事業（訪問介護ステーションさみん）

【財源：介護保険・町補助金・利用料】

①要介護状態又は要支援状態にある高齢者等に対し、訪問介護を提供した。

②訪問介護連絡会の開催。

③訪問型サービス事業

④移動支援事業（町受託事業）

⑤障害者自立支援費制度による訪問介護サービス事業

利用人数内訳：介護30名、障害4名、移動支援2名

令和2年度 会計報告

【財産目録】 令和3年3月31日

資産の部		負債の部	
流動資産合計	6,407,032 円	流動負債合計	5,941,162 円
現金預金	1,960,359 円	事業未払金	5,034,650 円
事業未収金	500,889 円	その他の未払金	246,468 円
未収補助金	3,945,784 円	預り金	1,038 円
		職員預り金	273,079 円
		賞与引当金	385,927 円
固定資産	12,417,735 円	固定負債	6,104,630 円
基本財産特定預金	1,000,000 円	退職給付引当金	5,170,830 円
車輜運搬具	883,341 円	共済会退職共済金引当金	933,800 円
器具及び備品	1,432,465 円		
退職手当積立基金預け金	6,104,630 円		
財政積立基金積立資産	2,997,299 円		
資産合計	18,824,767 円	負債合計	12,045,792 円
		差引純資産	6,778,975 円

【令和2年度 資産収支計算書】

事業活動収入	71,329,219 円
事業活動支出	71,838,682 円
事業活動資金収支差額	△ 509,463 円
施設整備等収入	0 円
施設整備等支出	1,927,000 円
施設整備等資金収支差額	△ 1,927,000 円
その他の活動収入	0 円
その他の活動支出	1,053,120 円
その他の活動資金収支差額	△ 1,053,120 円
予備費	0 円
当期資金収支差額	△ 3,489,583 円
前期末支払資金残高	4,341,380 円
当期末支払資金残高	851,797 円
収入合計	75,670,599 円
支出合計	74,818,802 円



赤い羽根共同募金は、 「じぶんの町を良くするしくみ」です。



社協だよりNo.36号から3回に分けて、共同募金の流れとしくみについてをご紹介します。第2回目の今回は、共同募金が実施されるようになった経緯や共同募金についての豆知識をご紹介します。

共同募金は“たすけあい”の運動です。

赤い羽根共同募金運動は、1947年に戦後の貧困救済を目的にはじめられた“たすけあい”の運動です。

竹富町での募金運動は10月1日から1月31日までの4ヶ月間で取り組まれています。

募金の使いみちなどは、皆様の善意を適正に取り扱うために「社会福祉法」で定められています。



共同募金の豆知識

Q.1 どうして募金すると赤い羽根をもらえるの？

「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルだからです。

アメリカの先住民は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、赤い羽根をつけていたと言われていました。1913年に共同募金を始め、そのしくみを世界中に広めたアメリカで、「善行」と「勇気」の象徴として水鳥の羽を赤く染めたものが配られるようになりました。

日本での赤い羽根共同募金は1947年に始まりました。日本で配られている赤い羽根は、不要になった鶏の羽を染めたものを使用しています。

(※) 出典：あかいはねキッズクラブ <https://www.akaihane.or.jp/find/#03>

Q.2 「赤い羽根共同募金」のお金は、どんなことに使われるの？

子どもたちに支え合いの心を伝える学びの場を支援したり、お年寄りがいきいきと暮らせるようにお手伝いをしたり、私たちの住む町で助けが必要な人たちのために使われます。

「赤い羽根共同募金」は、そんな支援を必要としている人たちのために活動するボランティア団体などに赤い羽根共同募金をもとにして、お金を渡すことで活動を助けています。このことを助成といいます。

「赤い羽根共同募金」の寄付金の使われ方は、赤い羽根データベース「はねっと」で公開しています。

赤い羽根データベース 「はねっと」
<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do>

Q.3 どうして「赤い羽根共同募金」をするの？

私たちの住む町には、暮らしていくのに助けが必要な人たちがいます。みんなが暮らしやすくなるお手伝いをするために、みんなでちょっとずつ助けあう。それが「赤い羽根共同募金」です。

助けが必要な人たちのために、いろいろなボランティア団体などが活動しています。活動に必要なお金をひとりでするのは大変なことだけど、みんなでちょっとずつ寄付すれば、より多くのお金が集まって、たくさんの方が活動にかかわることができます。

また、ボランティア団体などがバラバラに募金活動をする、どこへ寄付すれば良いか迷ってしまうので、「共同募金」としてまとめて募金活動をして、共同募金会が審査して必要とところに助成をしています。

令和2年度

赤い羽根共同募金 事業報告

令和3年3月に発行された社協だより35号に引き続き、皆様のご理解とご協力のおかげで、実施することができた赤い羽根共同募金の事業をご報告いたします。

※各イベントは新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視し、「新型コロナウイルス感染症にかかる沖縄県主催イベント等実施ガイドライン」を参考にして実施しています。

結のまちづくり活動助成事業のご報告

募金の
使い道Ⅳ

住み慣れた島で安心して暮らせる まちづくりを応援します！

自治会や町内会などの地域住民で成り立つ団体が、地域の困りごとを自分たちの問題として住民みんなで助け合い解決できるように、支え合い活動のきっかけ作りを応援しています。コロナ禍で思うように活動できないこともありましたが、工夫しながら福祉活動を行うことができました。

令和2年度は8団体に計385,000円の助成を行いました。



古見・美原子ども会
助成額：82,000円
交通安全かかし作り



上原老人クラブ
助成額：50,000円
花壇整備



豊原子ども会・交通看板作り
助成額：30,000円



小浜島ふあまあ会
助成額：12,000円
乳幼児と親の居場所作り



小浜ミニバスケットボール
助成額：63,000円
スポーツ少年団：用具購入



竹富老人クラブ
助成額：78,000円
島内高齢者の見守り



2020年7月3日
大里商店ワークショップ
五感を感じる会 助成額：27,000円
有用島植物利活用プロジェクト



黒島老人クラブ 助成額：43,000円
ゲートボール用具購入



島の大先輩とお話をして、仲良くなろう!

子ども達と高齢者が顔の見える関係をつくり、地域の中でお互いに見守り・声掛けができることを目標に、その第一歩となるようフィールドワークを行いました。



参加した児童の声 (一部抜粋)

- ・おじいちゃんが(キジムナーと)戦っていたということを知ってびっくりしました。
- ・今回は私たちのためにふれあいインタビューに協力してくれてありがとうございました。
- ・道で会ったら挨拶をして、おじいちゃん、おばあちゃんを笑顔にさせたいです。

事業名:福祉教室の開催

実施年月:令和3年2月

ふれあいサロン活動に関わる方の講習会&交流会♪

主に高齢者の憩いの場となっている「ふれあいサロン」活動。サロンに携わる各島のボランティアさんが一同に会し、要望のあった絵本読み聞かせ講習会と情報交換会を行いました。



参加した児童の声 (一部抜粋)

- ・各サロンの活動状況や問題点等話が聞けて良かった。
- ・今回盛沢山すぎて、全て時間に追われていた。
- ・(ボランティアを増やしたい悩みに対して)対話していくことの大切さを感じました。先ずボランティアの私達が楽しんでおります。

事業名:ボランティア情報交換会

実施年月:令和3年2月



募集

令和4年度に助成を受ける団体を募集します!!

~広がれ!!地域の輪 結のまちづくり活動助成事業~

この事業は、竹富町に拠点を有し、『安心して暮らせるまちづくり』推進のため活動している(今後活動する見込みのある)団体・グループを公募するもので、1団体10万円を上限に助成するものです。 ※町全体で70万円以内の予算とする。

募集期間 令和3年8月2日(月)~9月30日(木)

[対象事業]

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| (1) 地域福祉活動の推進・福祉啓発の推進 | (4) 児童の健全育成の推進 |
| (2) 健康・生きがいづくりの推進 | (5) 当該申請年度中に団体を設立するための準備経費 |
| (3) ボランティア活動の活性化 | (6) その他、地域福祉の推進に効果が期待できる活動 |

【お問い合わせ・申請先】 電話:84-3302 (担当:仲盛、伊奈、普天間) まで

住みよい地域にするために、 自分たちができる事って？

町内の小中学生が、ボランティア活動などを通して積極的に地域をよりよくなる活動に携わっていけるように、学校主体でボランティア推進育成教育を行っています。令和2年度は大原中学校が2年間の任期を終えました。



大原中学校・2年間の振り返り（一部抜粋）

- ・取り組んだ多くの活動を、支えてくれている地域への感謝や貢献を示す良い機会だと捉えることができた。その結果、やらされる活動ではなく、主体的に行う活動に変化し、その活動を今後も継続していきたいという意欲につながった。
- ・今後活動を風化させないよう、各活動の目的やねらいを、明確にし、継続した取り組みになるよう計画する。



事業名：ボランティア推進指定校(大原中学校) 実施年月：平成31年4月～令和3年3月

「令和3年度赤い羽根共同募金感謝の集い」表彰

共同募金への長年のご協力に感謝し、沖縄県共同募金会から以下の団体が表彰されることになりました。(以下表彰団体、敬称略)

○篤志寄付者(金額に関わらず10年以上寄付を継続されている個人・団体)

- ・(有)大 (有)ホンダ四輪大川モーター (有)肥後工務店 (有)横目測量設計
- ・(株)水圏科学コンサルタント (株)三矢コンサルタント (有)洲鎌組
- ・(有)日栄電設工業 共立生コン工業(株) (株)与那原建設 計 10団体

○奉仕功労者

(10年に亘って奉仕活動を行い、今年度もその活動が見込まれる個人・団体)

- ・古見小学校児童会 上原小学校児童会 計 2団体

募集

令和3年度の配分対象団体を募集します!!

～歳末たすけあい運動 地域配分事業～

募集期間 令和3年

8月2日(月)～9月30日(木)

- ・一人暮らし高齢者、高齢者世帯への安否確認、声かけ活動
- ・園児、児童生徒による高齢者とのクリスマスカード・年賀状交流活動
- ・福祉ニーズを持った方(世帯)に対する支援
- ・高齢者宅等の家屋の小修理・清掃活動(障子の張り替え・大掃除など)
- ・利用者相互、活動団体相互、地域住民等の交流活動
- ・地域の幅広い人々が参加する地域福祉活動の実施

「対象事業」

この事業は、竹富町の高齢者、障がい者、子どもなど、誰もが地域社会の一員として安心して新年を迎えることができるよう、町民の主体的な参加により地域で実施される福祉活動を支援・推進するものです。



配分額
1事業
最大3万円

※事業の内容、募金額及び審査委員会の決定により助成金額は決定されます。

【お問い合わせ・申請先】 電話：84-3302 (担当：仲盛、伊奈、普天間) まで



「生活支援体制整備事業（地域支え合い活動）」が始まりました！！

誰もが住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けるための体制作りです
今、全国の市区町村で地域における支え合いの活動を「地域の視点で広げてみよう」と取り組まれています。
この取り組みを進めていくために「生活支援コーディネーター」という仕組みが作られました。

生活支援コーディネーターとは

- ① 地域資源の把握
- ② 生活ニーズの把握
- ③ 活動の場の発掘・開発
- ④ サービスや活動の場の周知

◎情報を集め整理し、既存の活動や地域資源を把握することで、どのような課題が地域にあるか理解し、地域の皆さんと協働で、助け合い・支え合い活動が出来るような地域づくりを目指しています。

話し合いの場づくり

地域でどのような課題があるのか何が必要なのか等を地域の皆さんと一緒に考えます



通いの場づくり

体操等の集まりなどに、地域の皆さんが気軽に集まれる場所を支援します



生活費にお困りの方へ

特例貸付の受付期間が一部延長されました！！

新型コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りの場合、生活困窮者自立支援機関による支援(※1のみ)とともに、沖縄県社会福祉協議会での審査・利用決定後、貸付を行います。

【8月末まで延長】

- ・緊急小口資金・総合支援資金
- ・総合支援資金（再貸付）（※1）

◎各貸付の詳しい内容につきましては、町社会福祉協議会へお電話でお問合せ頂くか、沖縄県社会福祉協議会のホームページをご確認ください。

※総合支援資金(延長申請)の受付は6月30日をもって全て終了いたしました。
総合支援資金の初回を利用されている方で、尚収入減少の状況が続き、追加で借入れをご希望の方は、今後、総合支援資金(再貸付)において対応させていただきますのでご了承ください。

お問合せ先 … ☎84-3302 担当：仲盛、伊奈、普天間、佐方、田本、東迎

●相談のため来所される際は **お電話での事前予約** が必要となります。ご協力お願いします。